

阿見町総合計画策定にあたっての課題の整理

STEP1 基礎的調査に基づく町の課題の分析

人がつながるまちづくり

- 地域予算制度等の取組が進められているものの、外国人の増加、核家族・単独世帯の増加などライフスタイルの変化とともに、コミュニティの意識が希薄化している。
- 高齢者や女性活躍の推進が求められる。働きやすさ、多世代の交流が必要。
- 特に若い世代からDXの推進が求められている。社会情勢を背景に、行政においても重点的な課題として認識されている。
- 財政力は高いが、公共施設の老朽化により、将来的に多額の費用が想定される。

人を育てるまちづくり

- 子育て世代への支援（働きやすい環境づくり、保育需要への対応、学校教育の強化）を充実させ、子育て世代へのアピールにつなげる。
- 高齢化に伴い、要支援・要介護の増加は避けられない。介護する若年層への負担が増加している。
- 特定健康診査の受診率が低く、健康意識を高める必要がある。
- 誰もが生きがいをもって社会に参加できるしくみづくりが求められている。

暮らしが快適なまちづくり

- 阿見吉原、荒川本郷などにおいて着実に住宅整備が進行している。鉄道駅に近い利便性を活かした人口増が期待される。一方で、町全体では空き家率も上昇している。
- デマンドタクシーの登録者は増加傾向にあり、住み続けたいまちづくりのための取組として、公共交通の充実は大きな要素。
- 地域経済活力向上の取組が重視されているが、そのイメージは年代によって異なっている。
- 二所ノ関部屋の開所を契機とした新たな地域資源への期待。

安全・安心なまちづくり

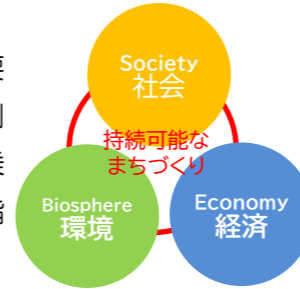
- 特に市街地において、防災力の強化のため水道管などのインフラ施設の老朽化対策が求められている。
- ごみの排出量が多く、ごみの減量化やリサイクルの推進が課題である。
- 県内でも二酸化炭素排出量が多く、脱炭素の取組を進めていく必要がある。
- 気候変動による異常気象、自然災害の激甚化・頻発化への対応が求められている。

STEP2 SDGsの3側面を通した課題の考え方

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

■「社会」「経済」「環境」SDGsの3側面

持続可能なまちづくりに求められる要素として、「社会」「経済」「環境」の側面から課題を整理し、3つの側面の相乗効果、好循環を生み出す計画策定を目指します。



Society: 阿見町の豊かな社会づくり

- 誰もが自分らしく、生きがいを持って暮らせる社会のために取り組むべきことは何か
- 誰一人取り残すことのない社会のために取り組むべきことは何か
- 子どもも大人も、子育てや学びの機会によって成長できる社会のために取り組むべきことは何か
- 身体的に、精神的に健やかに暮らせる社会づくりに取り組むべきことは何か

Economy: 阿見町の経済活性化

- 働きたい人が、働きやすい環境で活躍するために取り組むべきことは何か
- 持続可能な経済循環のために取り組むべきことは何か
- 住民の生活基盤を支え続けられる計画的な行財政運営のために取り組むべきことは何か

Biosphere: 阿見町の健全な環境づくり

- 災害の激甚化に耐えられる、安心・安全なまちづくりのために取り組むべきことは何か
- 誰もが住みやすい住環境、住み続けられる住環境の整備のために取り組むべきことは何か
- 豊かな自然環境と共存し、環境負荷の少ないまちづくりのために取り組むべきことは何か

STEP3 目指すまちの姿

SDGsの実現とウェルビーイングの向上

■ 協働・人権

- ・多様なライフスタイルを尊重しながら、住民同士のつながりを深める交流の促進
- ・誰もが活躍できる社会の実現に向けたジェンダー平等の推進

■ 行財政

- ・すべての行政サービスにおけるDXの推進
- ・広域的かつ中長期的な指針に基づいた行政経営の推進

■ 健康・福祉・医療

- ・子どもから高齢者までが健やかに暮らせる健康づくり
- ・支援を必要とするすべての人を取り残さないしくみづくり

■ 教育・文化

- ・子どもの成長ステージに対応した子育て支援、質の高い教育
- ・子育て世代をターゲットとした暮らしやすさのPR

■ 産業・観光

- ・持続可能な地域の経済循環を生み出す産業発展の推進
- ・広域的なポテンシャル、豊かな地域資源を活かした観光の振興

■ 都市基盤・まちづくり

- ・地域間のバランスの変化に対応した、地域の実情にあったまちづくりとネットワークの構築
- ・人口の見通しに対応した計画的な都市基盤整備
- ・5万人都市の実現・単独市制移行

■ 生活環境・環境保全・防災

- ・災害の激甚化、異常気象等の脅威に強いレジリエンスなまちづくり
- ・ゼロカーボンシティの実現を目指した、行政と町民の連携による自然環境との共存にむけた取組の推進

10年後のまちの姿(将来像)